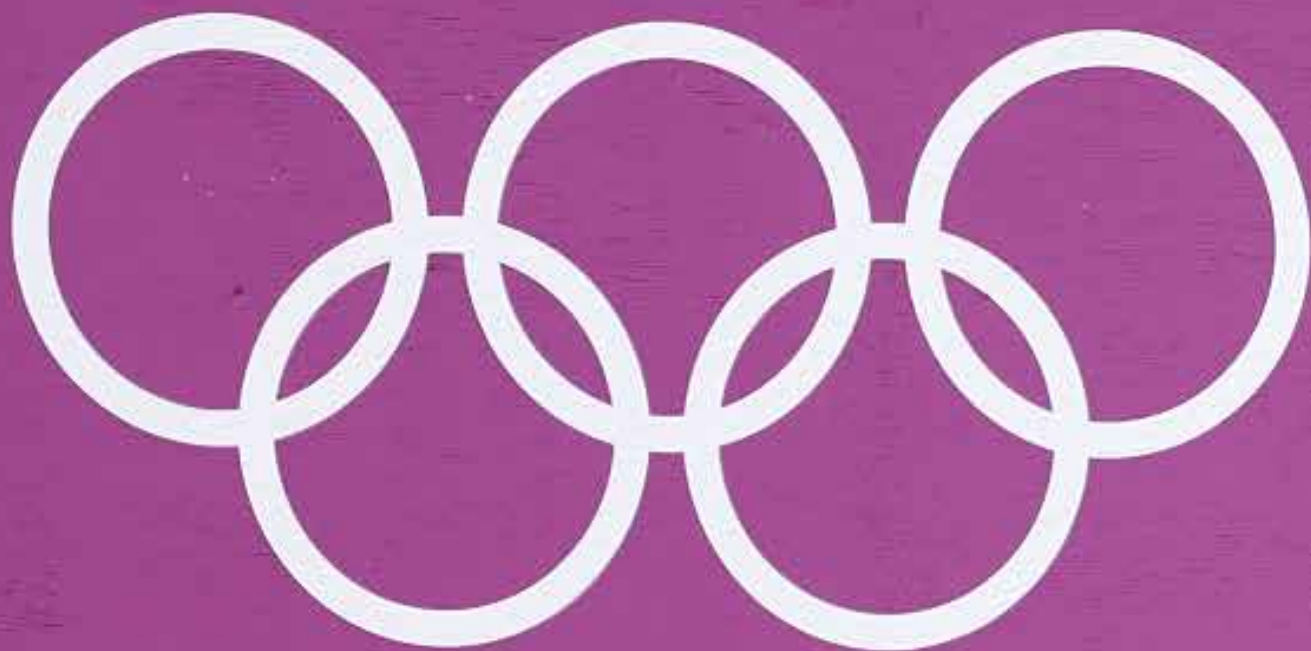




下野の杜

皇紀二六八一年 祝 東京五輪開催



— 栃木県神社だより 第51号 —

令和3年10月13日 発行

栃木県神社庁教化委員会発行 TEL028(625)2011
宇都宮市八幡台 14-24 FAX028(624)3217
■表紙写真 古峯神社 石原奈央子権禰宜の勇姿
写真提供 石原奈央子権禰宜

人々の願いと努力が実を結び
平らけき世の到るを祈る



季刊誌「皇室」（日本文化興隆財団企画・扶桑社刊）から転載

歌会始お題「実」

日々の祈り

― 神棚に手を合わせる ―

お神札は、私たちの生活をお守りくださる大切な存在です。神宮大廟やお神札を置く場所を設けただけでは、「まつる」ことにはなりません。日々の生活の折々に、手を合わせることも重要です。

日常を過ごす空間の中に祈りの場を設け、神さまと祖先の恩恵を受け、日々「生かされている」ことへの感謝とともに、ご家庭内での出来事などを報告し、日々の生活の平穏をお祈りしてお守りいただきましょう。

神棚にお供えをし、二拝二拍手一拝の作法でお参りします。さらに神棚拝詞を奉唱し、真心を持って生活することをお誓いするとより丁寧です。

神棚拝詞

神棚に向かう時の唱え言葉です。半紙に浄書してみましょう。そして神棚に向かう時は毎日この言葉を唱えて、お参りしましょう。

此の神床に坐す 掛けまくも畏き 天照
大御神・産土大神等の大前を拝み奉り
て恐み恐みも白さく 大神等の広き厚き
御恵を辱み奉り 高き尊き神教の随に直
き正しき真心もちて 誠の道に違ふこと
なく 負い持つ業に励ましめ給い 家門
高く 身健やかに 世のため人のために
尽くさしめ給えと恐み恐みも白す

神棚のまつり方



神棚へのお供え

日々のお供えは米・酒・塩・水を図のようにお供えするのが基本ですが、出来るものからでかまいません。神棚の両側にお供えする場合は、青々と生い茂る常緑樹で生命力の象徴です。水はこまめに取り換えましょう。季節の初物や戴き物は神棚にお供えして、神様に報告しましょう。そして一度お供えした後は、神様からのお下がりとして家族で戴きましょう。

お神札の並べ方

可能であれば文字の書いてある面を、南または東向きにします。

より丁寧におまつりしたい場合は、左の図のように神棚（宮形）にお神札を納めておまつりしましょう。



三社づくり

中央に神宮大廟、右に氏神社のお神札、左に崇敬する神社のお神札を納めます。

一社づくり

手前を神宮大廟にし、氏神社のお神札、崇敬する神社の額にお神札を重ねて納めます。

編集後記

今号の特集は、今年行われた東京オリンピックと大変ゆかりのある、古峯神社宮司 石原敬士様と権禰宜 石原奈央子様との対談を掲載しました。石原宮司様は知る人ぞ知る「幻のオリンピック選手」として、今年の聖火ランナーを務められ、石原奈央子様は「クレー射撃スキート」選手として東京オリンピックに出場されました。斯界から、しかも栃木県からこのような素晴らしいお二人が活躍されたことは大変喜ばしく、同じ神職として誇らしく思います。

新型コロナウイルスが猛威を奮っている中で、オリンピック開催でしたが、選手や携わる人々の努力を目の当たりにし、改めてスポーツの偉大な力を感じました。コロナウイルスに打ち勝ち、お二人の活躍にあやかり神職として一日も早い収束を祈り続けたいと思います。

編集委員長 毛利 晴喜
編集副委員長 岩松 史恵
編集委員

稲 信子・大河原 肇
金子 宗人・黒川 裕正
小堀 真洋・櫻木 理史
関谷 秀・滝口 貴史
津田 宏・福田 光弘
増淵 元・町井 康祐
柳田 耕史

ホームページアドレス
<http://www.tochigi-jinjacho.or.jp>